

XV PANTERA Gel キット XV PANTERA MP Gel キット 取扱説明書

製品概要

XV PANTERA Gel キットは、XV PANTERA SYSTEM 専用、XV PANTERA MP Gel キットは、XV PANTERA MP SYSTEM 専用のプレキャストゲルキットです。ご使用の際はそれぞれのシステム専用高速電気泳動槽 ERICA または ERICA-MP をご使用下さい。

ゲルの詳細仕様等につきましては各表の通りです。

表1-1

ゲルの仕様

ゲルタイプ 型番	XV PANTERA Gel NXV-2□□□□	XV PANTERA MP Gel NXV-3□□□□
カセットサイズ	100×60mm	110×65mm
ゲルサイズ	W80×H40×1.0mm	W90×H45×1.0mm
コームタイプ	7well,10well,12well, 16well,20well,2-D	9well,12well,18well, 20well,2-D
用途	タンパク質分析用、DNA分析用	
キット内訳	プレキャストゲル 6枚 ×10 泳動バッファー 100ml	プレキャストゲル 6枚 ×10 泳動バッファー 200ml
20枚パック	プレキャストゲル 20枚 (型番の最後に「20」が付きます。)	
保存	4℃ (凍結厳禁)	
有効期限	製造日より3ヶ月	
専用電気泳動槽 泳動バッファー量	ERICA 型番: XVE-001C 250ml/回	ERICA-MP 型番: XVE-0MPC 350ml/回
推奨 パワーサプライ	KYOCA-TR Power Supply (泳動専用) 型番: KPS-00TR (SDS-PAGE 300V定電圧 / Native-PAGE, DNA分析 150V定電圧)	

※タンパク質分析用の泳動バッファーは、SDS-PAGE用が標準添付されています。NATIVE-PAGEにてご使用の場合は、予めご注文時にご用命下さい。
※本キットは2枚掛けを基本として構成されているため、泳動用バッファーの容量は3回分となっております。1枚掛けでご使用の場合は、オプションの高速SDS-PAGE泳動バッファー (液体タイプ) または高速SDS-PAGE泳動バッファー (粉末タイプ) をご注文下さい。
※20枚パックはゲルのみの販売になります。こちらも高速泳動バッファーは別途ご注文下さい。
※高速泳動バッファーは室温で保管して下さい。

表1-2

ゲル濃度と、SDS-PAGE分画範囲

ゲル濃度 (%)	最適分画範囲
5%	500,000 ~ 100,000
7.5%	350,000 ~ 40,000
10%	250,000 ~ 25,000
12.5%	200,000 ~ 15,000
15%	150,000 ~ 10,000
2~15%	500,000 ~ 20,000
5~10%	450,000 ~ 35,000
5~12.5%	400,000 ~ 25,000
5~15%	400,000 ~ 20,000
5~20%	350,000 ~ 10,000
7.5~15%	300,000 ~ 15,000
10~20%	200,000 ~ 8,000
15~25%	200,000 ~ 3,000

表1-3-1

XV PANTERA Gel 推奨サンプル量

well数	サブ量範囲	最適サブ量
7well	5 - 40 μ l	10 μ l
10well	4 - 25 μ l	8 μ l
12well	3 - 20 μ l	6 μ l
16well	2 - 12 μ l	4 μ l
20well	1 - 8 μ l	3 μ l
2-D	-	-

表1-3-2

XV PANTERA MP Gel 推奨サンプル量

well数	最適サブ量	最大サブ量
9well	8 - 16 μ l	30 μ l
12well	4 - 8 μ l	20 μ l
18well	3 - 6 μ l	12 μ l
20well	2 - 4 μ l	8 μ l
2-D	-	-

取扱説明

この取扱説明書では、XV PANTERA SYSTEM または XV PANTERA MP SYSTEM の基本セットを中心に説明しております。泳動バッファー等他社製品をご使用の場合は弊社までご相談下さい。

操作手順

1. 高速泳動バッファーの調整

添付の高速泳動バッファーは10倍濃縮になっておりますので、高速電気泳動槽の必要バッファー量に合わせて計量し純水で10倍に希釈します。
調整用純水は比抵抗18M Ω 以上の超純水のご使用をお薦めします。

2. サンプルの調整

1. サンプルを目的の染色や反応に適切な濃度になるようにサンプルバッファーで希釈します。SDS-PAGEの場合は希釈後に90℃で5分間加熱します。また、サンプルバッファーは表2の組成をお薦めします。

表2

推奨サンプルバッファー組成 (×1)

SDS-PAGE		
0.0625M	Tris HCl	pH 6.8
5%	2-メルカプトエタノール	
2%	SDS	
20%	グリセロール	
0.005%	BPB	
NATIVE-PAGE		
0.0625M	Tris HCl	pH 6.8
20%	グリセロール	
0.005%	BPB	
DNA分析用ゲル		
0.0625M	Tris HCl	pH 6.8
20%	グリセロール	
0.005%	BPB	
1mM	EDTA	
0.05%	キシレンシアノールFF	

3. 電気泳動の準備→開始→終了

1. ゲルカセットを保存袋から取り出しカセットの表面に付着している保存液を超純水で洗い流します。
2. ゲルカセットのコームを抜き取り高速電気泳動槽にセットします。セット方法は高速電気泳動槽に添付の取扱説明書でご確認下さい。
3. 調整した泳動バッファーを上部バッファー槽より静かに注入し、上部バッファー槽をあふれさせ、下部バッファー槽のMAXラインに達するまで注入します。
4. マイクロピペットを用いて各ウェルにサンプル及びM Wマーカーを注入します。注入する際ピペットの先端を無理に差し込まないで下さい。
サンプルアプライ量は表1-3-1、表1-3-2を参照下さい。
5. サンプルアプライが終了したら泳動槽カバーをかぶせ電源ケーブルをKYOCA-TR Power Supplyに赤・黒間違えないように差し込みます。
6. 泳動条件に合わせてKYOCA-TR Power Supplyの設定を表1-1の通りに行ない泳動を開始します。
* 他社製の電源をご使用の場合は、表1-1を参照してセットして下さい。
7. SDS-PAGEの場合、泳動の停止位置はフロントライン (BPB) がゲルの下端より5mmの所に達したらKYOCA-TR Power SupplyのSTOPスイッチを押して泳動を停止します。
* 泳動時間は泳動方法やゲル濃度により異なりますが、SDS-PAGEの場合、13~15分間です。
* 通常のSDS-PAGE用泳動バッファーを使用した場合の泳動時間は2~3分長くなります。
8. ゲルカセットを電気泳動槽から取り外し、ヘラ等でゲルカセットからゲルを外します。
外したゲルは目的に応じ、次の工程に進めて下さい。

ご使用の際ご不明な点がございましたら、弊社技術までお問い合わせ下さい。



ディー・アール・シー株式会社

東京都多摩市落合1-6-2サンライズ増田ビル
TEL 042-310-1331 FAX 042-310-1332
URL: http://www.drc2002.com